

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
中学3年	特進・進学	音楽		1	必修

教科書	教育出版 音楽のおくりもの2・3下 中学器楽 音楽のおくりもの
その他の教材	音楽鑑賞資料集 : 正進社 音楽学習帳 : 福島県中学校教育研究会 アルトリコーダー

目標	<p>1. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。</p> <p>2. 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する能力を高める。</p> <p>3. 音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高める。</p>
学習のねらい	<p>1. 歌唱表現の活動を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を味わい、美しい言葉の表現や、その曲にふさわしい表現を工夫すること ・声部の役割を考え、全体の響きを感じ取って合唱すること ・音楽の諸要素の変化を理解して表現を工夫すること <p>2. 器楽表現の活動を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特徴を生かして、曲にふさわしい音色や奏法を工夫すること ・自分の役割を考え、全体を聞きながらアンサンブルを作り上げる工夫をすること <p>3. 鑑賞の活動を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な音源による音色、音と音のかかわり、楽曲の構成、などを味わって聴くこと ・音楽の仕組みを理解して聴くこと ・世界に存在する様々な音楽の多様性を理解して聴くこと
定期考査	<p>実技試験（歌唱・器楽）</p> <p>筆記試験</p>
評価の観点 および 評価の方法	<p>実技試験の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現に対する姿勢とその技術 ・大勢の前での発表力 ・音楽表現の意欲・その豊かさ・技術 <p>筆記試験の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識の確認 <p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験（実技30%、筆記30%）、平常点（授業態度など）20～25%、ノートの提出と内容について15～20%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ワーク・楽器などは忘れずに毎時間持ってくる ・移動教室の際に遅れないようにすること ・提出物の期限を守る

桜の聖母学院中学校・高等学校 年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学期	4 月	校歌 花 鑑賞「ボレロ」	
	5 月	ボディパーカッションのアンサンブル ハレルヤコーラス①	「ボレロ」まとめ 実技試験・歌唱「花」の二重唱
	6 月	ハレルヤコーラス② 実技試験	実技試験・ボディパーカッション 「ボレロ」まとめ
	7 月	椰子の実 ハレルヤコーラス③	期末テスト
夏季 休業		音楽紹介文の作成（器楽曲）	
2 学期	9 月	椰子の実 アルトリコーダー独奏	
	10 月	荒城の月 鑑賞「アイダ」	「アイダ」まとめ
	11 月	キャロルコンクールに向けて ハレルヤコーラス④ 実技試験	実技試験・歌唱「椰子の実」「荒城の月」 から選曲 ・器楽 アルトリコーダー独奏
	12 月	キャロルコンクールに向けて ハレルヤコーラス⑤	期末テスト
冬季 休業			
3 学期	1 月	鑑賞 能「羽衣」キリから 文楽「義経千本桜」から大物浦の段	「羽衣」「義経千本桜」まとめ
	2 月	音楽発表会に向けて 高校卒業式歌の練習	期末テスト
	3 月	修了ミサの歌の練習	
春季 休業			